

なす風土記の丘資料館で産金体験

古代産金の郷として知られる馬頭地区で8月4日、なす風土記の丘資料館小川館主催による「産金体験」が行われました。

参加者20名は資料館へ集合。その後、大内川へ移動し、父親が昭和30年代まで、産金に従事していたという大森保夫さん（大内）を講師に産金の方法を教えてもらいました。川底の土砂をゆり板ですくい、川の中で静かにゆり動かします。土砂がなくなるまで動かすのを繰り返すと、ゆり板の中には土砂より重い砂金が残ります。

参加者は砂金を探すため、砂をすくってはゆり板を動かす作業を何回も繰り返し、チャレンジしていました。



「道の日」の催し開催

ふだん注目されていない「道」について、改めて目を向けてもらおうと8月10日、「道の駅ばとう」で「道の日」の催しが行われました。

この催しには、主催者の烏山土木事務所職員、町職員や建設業協会烏山支部など約50人が参加。開会式で谷田部烏山土木事務所長のあいさつ後、川崎町長は「道は経済、文化活動をするうえで最大の社会資本である。これからも道路整備については、町の重点課題と考えている」とあいさつしました。

会場内にはスピードくじやバザー、「道の日」アンケートに答えた人には、ピーマンやなす、トマトなど、夏野菜のプレゼントがあり、訪れた人は思わぬサービスに喜んでいました。

上河原農地水保全委員会が田んぼまわりの生き物調査

上河原農地水保全委員会は自分たちの住む身近な環境に目を向けようと8月12日、「田んぼまわりの生き物調査」を行いました。

午前9時、上河原公民館に約70名が集合。川上桂郎委員長は「自分たちの身のまわりにどんな生き物がいるのかを知ってほしい」とあいさつ。県水産試験場職員から生き物調査の説明がありました。サデ網などを使って約1時間かけて魚や水生昆虫を採捕し、数を数え、大きさなどを測りました。

カワニナやタニシが多く、めずらしいギバチの稚魚も見られました。報告会では、「今後5年間、継続して調査を行い、地域全体で多くの生き物が住めるような環境にしていきます」と話していました。



子ども会レクリエーション大会

子ども会相互の親睦と子どもの心身の健全育成のため8月19日、子ども育成会主催による第2回子ども会レクリエーション大会が小川運動場や小川体育館などで開催されました。小学生のスーパーキックベースボール、中学生のソフトバレーボールやインディアカ、3on3のチームが参加し、熱戦が展開されました。結果は次のとおりです。

- スーパーキックベースボール (全21チーム)
 - Aコート 優勝 矢又育成会
 - 準優勝 1区育成会
 - Bコート 優勝 大内育成会
 - 準優勝 田町育成会
 - Cコート 優勝 11区育成会
 - 準優勝 4区育成会
 - Dコート 優勝 谷田育成会
 - 準優勝 5区育成会
- ソフトバレーボール (全12チーム)
 - 優勝 栄町育成会
 - 準優勝 2区育成会
- 3on3バスケットボール (全23チーム)
 - 優勝 2区A
 - 準優勝 9区B
- インディアカ (全9チーム)
 - 優勝 栄町育成会
 - 準優勝 4区B

小川南小で親子仮装踊りを開催

8月4日、小川南小学校校庭で、学校、児童、PTAが一九となって地域を盛り上げようと、今年で2年目の仮装大会が開催されました。会場設営から進行などのすべてが、お父さんやお母さんたちの手作りによる運営で行われました。

トラックの荷台をステージに、お父さんたちの有志によるバンド演奏や夏休み中に練習した歌を6年生が披露。集落ごとに発表した親子仮装踊りでは、今年話題となった海賊の映画やアニメのキャラクターに扮した仮装など、夏休みを返上して家族で作成した衣装は、力作ぞろいで、大いに盛り上がりました。



「武茂川楽校」清流体験

「ばとうまちの駅」では、8月27日に大山田下郷地内の武茂川において、徒歩で川下りをしながら、自然と触れ合う「武茂川楽校」を開催しました。

地元の小・中学生や親子での参加者20名が、川の安全確認の講習後、ライフジャケットを着用し、滑る川底に気を付けながら、河川のゴミの回収などをしました。

参加者は、途中、川流れを体験したり、魚を捕まえたりして武茂川の豊かな自然や魅力を再発見しました。ゴールの丸山橋では、みんなでバーベキューをして、交流を深めました。

那珂川町消防団合同訓練の実施

水利不便地の火災を想定した消防団合同訓練が8月26日、馬頭運動場及びその周辺で、町消防団、烏山消防署馬頭分署、県消防防災航空隊の関係者約300名、ポンプ車・積載車あわせて車両31台、県防災ヘリコプター1機の参加のもと、実施されました。

南町の町堀、久那川岩下橋付近、馬頭中学校のプールなど4カ所の水利から中継を重ね、山頂の馬頭運動場への放水を実施しました。

このほか、県防災ヘリコプターによる救助訓練と空中消火訓練が武茂川河川敷付近で実施され、不測の事態に備えた訓練は、無事終了しました。



地域県政懇談会で県に要望 「小規模農家に県独自の助成を」など

県民の声を県政に反映させることを目的に8月29日、役場2階会議室で「地域県政懇談会」が開催されました。

この懇談会は県北県民センター主催で、町からは各種団体の代表者ら13名が出席し、日ごろから困っている地域の現状を説明し、支援を訴えました。

「老人ホームの増設」「養護学校の子どもの送迎」「国道293号の整備」「吉田地区道路の拡幅」「小規模農家に対する県独自の助成」「栃木県のイメージアップ」「那珂川町の観光PR」「カワウ被害の対策」「携帯電話の不通地区の救済」などの意見が次々と出されました。

